

⑤⑤ H 2026 年度 日本 史

問 題 冊 子 (1～15 ページ)

注 意 事 項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見ないこと。
- (2) 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に申し出ること。
- (3) 解答は別に配付する解答用紙の該当欄に正しく記入すること。ただし、解答に関係のない語句・記号・落書き等は解答用紙に書かないこと。
- (4) 解答用紙上部に印刷してある受験系統コード、受験番号、氏名(カタカナ)を確認し、氏名欄に氏名(漢字)を記入すること。もし、印刷に間違いがあった場合は、手を挙げて監督者に申し出ること。

〔解答用紙記入例(選択式の場合)〕

例 1. 〔語群〕が二桁で 11 大阪 12 佐賀 13 長崎 14 東京 とある場合

問 X	A		B		C	
	16	17	18	19	20	21
	/	2	/	4	/	/

A の解答が佐賀の場合 → (17)
 B の解答が東京の場合 → (19)
 C の解答が大阪の場合 → (21)

例 2. 〔語群〕が一桁で 1 大学 2 中学校 3 高校 4 小学校 とある場合

問 X	a	b	c
	51	52	53
	/	4	2

a の解答が大学の場合 → (51)
 b の解答が小学校の場合 → (52)
 c の解答が中学校の場合 → (53)

〔Ⅰ〕 次の文章(A～D)を読み、下線部(1～8)が誤っていれば、もっとも適切な語句を語群からひとつ選び、その番号を解答欄に記入せよ。正しければ、番号〔43〕を記入せよ。また、設問(a～c)の答えは、正確な漢字で解答欄に記入せよ。

A 旧石器時代には、食料の動物をおって移動がくりかえされた。縄文時代になると、自然環境の変化によって食料源が豊かになり、定住生活がはじまった。縄文人は、集落のなかやその近くに集団墓地を営んだ。死者はそのなかに埋葬されることが多かった。しばしば手足を折り曲げた¹再葬もおこなわれたが、死者の霊が災いをおよぼすことを恐れたためと考えられている。弥生時代には、各地域で特色のある墓がつくられた。九州では、特製の大型の土器に死者を葬った²方形周溝墓がみられる。

B 古墳時代には、大陸との交流が活発になり、朝鮮や中国から多くの人びとが移住してきた。渡来人は新しい技術や文化をもたらし、ヤマト政権は彼らを職業部に組織して積極的に活用した。

稲作の広がりにともない、農耕にかかわる神々への信仰も深まっていった。豊作を祈る春の祭りや収穫を感謝する³祈年祭がおこなわれた。また、呪術的風習も盛んであり、鹿の骨を焼いて吉凶を占う⁴盟神探湯などもおこなわれた。

C 中世には、武士や民衆が台頭した。院政期の貴族文化は、武士・民衆とその背後にある地方文化を取り入れ、新鮮な輝きを放っている。インド・中国・日本の説話を集めた『今昔物語集』は、武士や民衆の生活ぶりをいきいきと描きだす。また、勃興する武士の世界へのまなざしが、前九年合戦を描いた『⁵将門記』を成立させた。応天門の変に題材をとった『⁶年中行事絵巻』は、民衆のざわめきまでがリアルに描かれている。こうした作品が制作されたことは、武士・民衆や地方にむけられた、この時代の貴族の関心を示している。

D 武家政権の成立によって、武士の地位は上昇した。一方、貴族は、政治的立場を後退させながらも、文化的な面では優位性を保っていた。

鎌倉時代には、和歌を家業とする職業的な専門歌人が活躍した。『新古今和歌集』の編者である藤原行成⁷は、歌論を著して中世の歌学を大成し、独自の美意識にもとづいた新しい和歌の世界を創りあげた。この時代には、朝廷が全国の行政権を維持しており、朝廷の儀式・先例を研究する学問^アにも実用性があった。承久の乱後、佐渡に配流された順徳天皇⁸が著した『禁秘抄』には、宮中の諸行事の次第や政務の作法が説かれている。

〔語 群〕

- | | | | |
|------------|----------|-----------|----------|
| 11 火 葬 | 12 屈 葬 | 13 伸展葬 | 14 土 葬 |
| 15 甕棺墓 | 16 支石墓 | 17 木棺墓 | 18 箱式石棺墓 |
| 19 加持祈禱 | 20 新嘗祭 | 21 物 忌 | 22 虫送り |
| 23 祓・禊 | 24 方 違 | 25 日 待 | 26 太 占 |
| 27 陸奥話記 | 28 大 鏡 | 29 栄華物語 | 30 平治物語 |
| 31 藤原信実 | 32 藤原定家 | 33 藤原忠通 | 34 紀貫之 |
| 35 後鳥羽天皇 | 36 土御門天皇 | 37 後醍醐天皇 | 38 崇徳天皇 |
| 39 信貴山縁起絵巻 | | 40 鳥獣人物戯画 | |
| 41 伴大納言絵巻 | | 42 源氏物語絵巻 | |

設問 a 古墳時代には、朝鮮半島から高温で焼成した硬質で灰色の土器の作製技法がもたらされ、弥生土器の系譜をひく土器とともに用いられるようになった。弥生土器の系譜をひく土器は何か。

設問 b 平清盛は氏神の厳島神社に一門の繁栄を願って経巻を捧げた。華麗な装幀で知られるこの装飾経は何か。

設問 c 下線部アの研究・学問を何というか。4文字で記せ。

〔Ⅱ〕 次の文章および史料(A・B)を読み、設問(1～8)の答えとしてもっとも適切なものをひとつ選び、その番号を解答欄に記入せよ。該当するものがない場合は、番号〔5〕を記入せよ。また、設問(a～c)の答えは、正確な漢字で解答欄に記入せよ。なお、史料は一部書き改めたり省略したりしたところがある。

A 徳川家宣・家継の侍講であった儒者は、屋久島に潜入し捕らえられたイタリア人宣教師への尋問を行った。鎖国のもとでは西洋の学術・知識の吸収は困難だったが、尋問で得た知識をもとに、ヨーロッパなどの地理・歴史を紹介した。その内の一つ『西洋紀聞』には次のように記されている。

凡そ、其人博聞強記にして、彼方多学の人と聞えて、天文地理の事に至ては、企及べしとも覺えず(中略)其教法を説くに至ては、一言の道にちかき所もあらず(中略)彼方の学のごときは、ただ其形と器とに精しき事を、所謂形而下なるもののみを知りて、形而上なるものはいまだあづかり聞かず、さらば天地のごときも、これを造れるものありといふ事、怪しむにはたらず
(口語訳)

尋問した人物は、記憶力がよく豊かな知識を持ち、天文や地理の知識が特に優れた者であった。キリスト教に関する説明に道徳的真理は見いだせないが、西洋の学問は、物質的および技術的な知識に詳しく、はっきりと形があり存在を確認できる分野だけを重視する傾向がある。一方、はっきりと形がない感覚的なものについては、深く考察しておらず、キリスト教に神が天地を創造したという話があるのも理解できなくはない。

この書はキリスト教関係の記事を含むため、著者である儒者の家に秘蔵されてきた。しかし1793年に幕命により献上されてからは、知識人の間に広まっていった。^エ

設問 1 下線部アの儒者による著作はどれか。

- | | |
|-----------|-----------|
| 1 『華夷通商考』 | 2 『読史余論』 |
| 3 『蘭学事始』 | 4 『徳川禁令考』 |

設問 2 下線部イは誰か。

- | | |
|--------|---------|
| 1 ケンペル | 2 シーボルト |
| 3 ビットル | 4 シドッチ |

設問 3 下線部ウの導入が天文・暦学へ与えた影響として、正しいものはどれか。

- 1 渋川春海が平安時代以来の宣明暦を修正した。
- 2 太陽暦から太陰太陽暦へ変更された。
- 3 編暦を担当する土御門家が設置された。
- 4 天文方の高橋至時らが貞享暦をつくった。

設問 4 下線部エ以前の出来事はどれか。

- | | |
|------------|-------------|
| 1 ラクスマン来航 | 2 ゴローウニン事件 |
| 3 フェートン号事件 | 4 異国船打払令の発令 |

設問 a 下線部アの儒者は、将軍の権威を高めるため、朝鮮から日本宛ての国書における将軍の称号を改めさせた。新たな称号を4文字で答えよ。

B 菱垣廻船積問屋共より是迄年々金一万二百兩づつ冥加上げ金納め致し来たり候所、問屋共不正の趣も相聞こえ候に付、以来上納に及ばず候、尤、向後右仲間株札は勿論、此外にも都て問屋仲間并組合などと唱え候義は相成らず候、右に付いては、是迄右船に積み来たり候諸品は勿論、都て何国より出で候何品にても素人直売買勝手次第たるべく候

『江戸町触集成』

(解 説)

菱垣廻船積問屋はこれまで毎年冥加金を上納してきたが、問屋が不正をしているという風聞もある^オので、以後は上納する必要はない。今後は株仲間であることを証明する札はもちろん、この他すべてにおいて、問屋仲間や組合などと称してはいけない。

これまで菱垣廻船積問屋が扱ってきた品はもちろんのこと、すべての品において^カ仲間以外の商人が直接取引してもよい。

設問 5 Bの法令に関する説明として、誤っているものはどれか。

- 1 江戸への商品輸送量を増加させることにつながった。
- 2 株仲間による商品流通独占を問題視した。
- 3 物価の引き下げをねらったものであった。
- 4 株仲間を解散させたが、のちに再興することになった。

設問 6 下線部オに関連して、運上や冥加による営業税の増収をはかるため、株仲間を積極的に公認した人物の説明として誤っているものはどれか。

- 1 定額の計数銀貨を鑄造させ、金中心の貨幣制度への一本化を試みた。
- 2 佐野政言により刺殺された。
- 3 商人資本を利用して、積極的に新田開発を試みた。
- 4 長崎貿易において倭物の輸出を奨励した。

設問 7 Bの法令は下線部力により自由な取引が進むことを望んだが、下線部力は株仲間と対立する場合もあった。これに関連して、菜種・綿などの流通自由化をめぐり、生産地の百姓らも巻き込む大規模な訴訟が起こった地域はどこか。

- | | |
|-------|------|
| 1 北九州 | 2 畿内 |
| 3 瀬戸内 | 4 東海 |

設問 8 Bの法令はどの将軍のもとで実施されたか。

- | | |
|--------|--------|
| 1 徳川家治 | 2 徳川家斉 |
| 3 徳川家慶 | 4 徳川家定 |

設問 b 下線部力の中には、商品作物のような商業的農業の展開によって出現した、農村を拠点に活動する商人も含まれていた。このような商人を何というか。

設問 c Bの法令を出した老中は、財政安定と対外防備強化のため、江戸・大坂周辺を直轄地とする法令を出した。しかし大名や旗本からの激しい反発を受け撤回することになった、この法令は何か。

〔Ⅲ〕 次の文章(A～C)を読み、設問(1～8)の答えとしてもっとも適切なものをひとつ選び、その番号を解答欄に記入せよ。選択肢の中に該当するものがないときには、番号〔5〕を記入せよ。また、設問(a～c)の答えは、正確な文字で解答欄に記入せよ。ただし、通常、漢字で記される語句は正確な漢字で記せ。

A 幕末、政治の混乱に加えて開国による物価上昇もあり、社会不安は高まった。困窮した農民が世直しを訴える一揆を起し、1867年には、東海、畿内地域で集団乱舞が発生した。一方で、国内外で不安が増大したことで、欧米の技術や知識の輸入が行われ、学問への関心も高まった。洋学や軍事技術だけにとどまらず、法制や経済に至るまで様々な分野で関心^アが持たれるようになった。これは、明治維新後の富国強兵、殖産興業へと繋がっていく。

1868年、鳥羽・伏見の戦いに勝利した新政府は、内戦が続く中、政治の刷新を行った。そして、諸外国との関係を整え、五箇条の誓文を公布して天皇親政を示した。同じ年に政体書^イを制定して中央集権の形を示し、新たな政治体制を目指した。

戊辰戦争が終わると、新政府は、不平等条約の改正を目指し、また欧米諸国と対等に渡り合える国家にするために、政治、法制、経済などの近代化を進めた。とりわけ廃藩置県によって国内の政治的統一が実現すると、近代化の流れは大いに前進した。中央政府の組織整備、学制や徴兵制の制定、地租改正を行い、政治、教育、税制面で改革を行った。また、各地の反乱に備えるため、兵部省のもと各地に鎮台を設置した。身分制度を改め、四民平等と、統一的な戸籍も作られた。経済の面でも殖産興業をスローガンに、関所や株仲間などの古い制度を廃止し、交通、通信、工業、農業の近代化が進められた。^ウ

設問 1 下線部アについて、幕末の軍事、洋学の習得に関する説明として誤っているものはどれか。

- 1 幕府が設けた蕃書調所では、洋学の教授と外交文書の翻訳が行われた。
- 2 講武所では洋式砲術を含む武芸を教え、箱館ではオランダ人による海軍伝習が行われた。
- 3 汽船の機関を製造・修理する設備を持った造船所が長崎に建設された。
- 4 洋書調所の教官西周、津田真道はオランダに留学した。

設問 2 下線部イについて、政体書で定められた政府組織に関する説明として誤っているものはどれか。

- 1 アメリカの憲法を参考に三権分立の理念が取り入れられた。
- 2 太政官の下には、立法を担当する議政官が置かれた。
- 3 議政官の下には、司法を担当する下局が置かれた。
- 4 高級官吏を4年ごとに互選で交代させる官吏公選制を採用した。

設問 3 下線部ウについて、交通、通信、工業の近代化の説明として正しいものはどれか。

- 1 1872年に新橋・横浜間に敷設された鉄道は、翌年神戸に延伸された。
- 2 官営模範工場として、群馬県富岡に製鉄所が設けられた。
- 3 1869年に東京・横浜間に架設された電信線は、1875年には北海道から長崎まで開通した。
- 4 新島襄の建議によって作られた郵便制度は、発足後まもなく全国均一料金制をとった。

設問 a 下線部 a について、この集団乱舞を何というか。

B 幕末に結ばれた欧米との不平等条約の解消のため、岩倉具視、寺島宗則、井上馨、大隈重信が交渉を行ったが、いずれも失敗に終わった。しかし、憲法と諸法典の制定、国会開設など近代的国家体制を造り上げたことに加え、ロシアの脅威が後押しし、不平等条約解消は前進した。1894年、日英通商航海条約に調印し、列国とも同様の条約に調印したことで、領事裁判権の撤廃や最恵国待遇の双務化など不平等条約の多くが解消された。そして、1911年になって、ようやく関税自主権を回復し、不平等条約は完全になくなった。

欧米とは対照的に、アジアの周辺諸国に対して日本政府は厳しい態度で臨んだ。1874年の台湾出兵では、清に賠償金を支払わせ、その清を宗主国とする琉球に対しても、1879年に沖縄県を設置する琉球処分を断行している。

朝鮮については、江華島事件を機に、日本に有利な不平等条約を結んだ。この条約締結後、親日派勢力が朝鮮内で一時力を持ったが、清に依存する勢力と親日派勢力が朝鮮国内で争い、次第に朝鮮における日本の影響力は落ち、日本の清・朝鮮に対する感情は悪化した。^b 1894年、朝鮮国内の農民の反乱をきっかけに日清両国は朝鮮に出兵し、その後日本の宣戦布告で日清戦争が始まった。日本は勝利し、下関条約では、清に朝鮮の独立を認めさせ、また清が日本に多額の賠償金を支払うことを認めさせた。日本国民はこの勝利にわいたが、遼東半島の割譲も条約に含まれていたため、東アジア進出を目論むロシアは他国を誘ってこの割譲を阻止した。^オ 日本政府も国民も強く不満に感じたが、遼東半島を諦めて返還し、その後は台湾の経営に注力した。

日清戦争の勝利は、国内外の状況を変えた。欧米列強は清の弱体ぶりを知り、中国に進出した。ロシア等の干渉による遼東半島の返還や列強の中国進出は日本にとって対外脅威であり、また、日本自身の中国進出への意欲からも、対外膨張を目指す国家主義が思想界で主流となった。政府も、軍備拡張、国家権力の強化を行っていった。^力

設問 4 下線部エについて、4 人が行ってきた交渉に関する記述として正しいものはどれか。

- 1 1871 年、岩倉具視を大使とする使節団が欧米に派遣され、まずイギリスと不平等条約解消の交渉を行ったが、不調に終わった。
- 2 1876 年、外務卿の寺島宗則が担当した領事裁判権の撤廃の交渉は、アメリカ、イギリスとの間で進んだが、ドイツの反対で失敗に終わった。
- 3 1887 年、外務卿の井上馨は欧米と交渉し関税自主権の回復に関して進展が見られたが、国内で極端な欧化主義が問題視され外務卿を罷免され、交渉は中断した。
- 4 外務大臣の大隈重信は条約交渉を順調に進めた。しかし、大審院の判事に外国人の任用を認めていたことがわかると、強い反対が起き、1889 年、対外硬派の青年に大隈重信が負傷させられた事件が起き、改正交渉は中断した。

設問 5 下線部オについて、ロシアとともに干渉した国として当てはまるものはどれか。

- 1 アメリカ 2 イギリス 3 ドイツ 4 オランダ

設問 6 下線部カについて、日清戦争後の内閣に関する説明として正しいものはどれか。

- 1 第 2 次伊藤博文内閣は、自由党の閣外協力を得て、軍備拡張予算を成立させた。
- 2 第 2 次松方正義内閣は、軍備拡張を実現するため、大隈重信を内務大臣として入閣させ、進歩党の協力を得た。
- 3 第 1 次大隈重信内閣は、陸軍大臣、海軍大臣も自ら率いる憲政党出身者をあてようとしたため、批判を浴び、4 ヶ月で退陣した。
- 4 第 3 次伊藤博文内閣は超然主義をとり、政党の軍部への影響力をはばむため、軍部大臣現役武官制を定めた。

設問 b 下線部 b について、福沢諭吉は『時事新報』で、日本はアジアとの連帯をやめ、欧米列強の一員となるべきだという考えを発表した。この考えを何というか。3 文字で記せ。

C 第一次世界大戦後、復興が進んだ欧米がアジア市場に商品を再び供給するようになり、日本は大戦景気から一変し、不況に陥った。1920年代は、関東大震災を引き金とする不況など、経済は停滞した時期であった。国民生活の行き詰まりに加え、1925年に普通選挙法が成立したこともあり、社会主義運動が高まった。そして、様々な政党が組織された。

1928年、普通選挙制のもとで初めてとなる総選挙が行われると、8人の社会主義者が当選し、同時に非合法とされた共産党も公然と活動を開始したので、田中義一内閣は選挙直後に共産党員を一斉検挙した。また、治安維持法を改正して最高刑を死刑・無期懲役にするなど強硬な態度に出た。この内閣は中国政策においても強硬姿勢で臨み、北伐を行う国民革命軍と対決姿勢を見せ、満州軍閥の張作霖を支援した。しかし、張作霖が国民革命軍に敗れると、日本の関東軍は、謀略によって張作霖を排除して満州を直接支配しようと考えた。1928年、中央の判断を仰がずに関東軍の独断で張作霖を奉天郊外で爆殺した。しかし、事件の結果は、関東軍の狙い通りとはならなかった。

次の浜口雄幸内閣は、外務大臣に幣原喜重郎を起用し協調外交を復活させた。この内閣のもとでロンドン海軍軍縮条約に調印したこともあり、軍や右翼は弱腰外交と批判した。特に満州權益が脅かされていた関東軍は危機感を高めていた。そこで関東軍は、1931年、柳条湖で南満州鉄道の線路を爆破し軍事行動を開始した。いわゆる満州事変である。当時の若槻礼次郎内閣は不拡大方針を声明として出したが、関東軍はそれを無視して戦線を拡大し、戦争は泥沼にはまっていった。

設問 7 下線部キについて、張作霖の殺害後に起きたことの説明として誤っているものはどれか。

- 1 事件の処理をめぐり、天皇の不興を買った田中義一内閣は総辞職した。
- 2 張作霖の息子が満州全土で国民党の旗を掲げた。
- 3 国民党の北伐は完了し、中国全土の統一がほぼ達成した。
- 4 国民政府は、不平等条約の無効を一方的に宣言する外交方針をとるようになった。

設問 8 下線部クについて、この爆破事件を首謀した参謀は誰か。

1 石原莞爾

2 大川周明

3 井上日召

4 橋本欣五郎

設問 c 下線部 c について、このとき合法的な社会主義政党がつくられたが、社会主義という言葉がはばかれたことから、これらの政党はなんと呼ばれたか。

〔Ⅳ〕 次の文章(A・B)を読み、空欄(1～8)にもっとも適切なものを語群からひとつ選び、その番号を解答欄に記入せよ。該当するものがない場合は、番号[43]を記入せよ。また、設問(a～c)の答えは、正確な文字で解答欄に記入せよ。ただし、通常、漢字で記される語句は正確な漢字で記せ。

A 五・一五事件の後、政党の影響力は小さくなる一方、軍部の政治的影響力が増大し、軍国主義化が進んだ。1934年、陸軍省新聞班により発行されたいわゆる陸軍パンフレットは、軍部が政治・経済・思想などに介入することを主張したものとして議論を巻き起こした。

1935年にはいわゆる天皇機関説事件がおこった。これは、『憲法講話』などの著書の中で(1)が唱えた天皇機関説が、軍部や国家主義者らによる非難・排撃運動を受け、政治問題化したことを指す。この問題は倒閣運動にまで発展した。当時の(2)内閣はこれに応ずる形で、統治権の主体は天皇にあり、天皇機関説は否認する^aという内容の声明を発した。

1936年には陸軍皇道派の青年将校らが約1,400名の兵を率いて反乱を起こす事件が発生した。彼らは首相官邸などを襲撃し、大蔵大臣らを殺害した。この反乱は数日で鎮圧されたものの、当時の内閣は総辞職するに至り、新たに(3)を首相とする内閣が成立した。同内閣組閣の際、軍部は閣僚の人選に干渉するなど、政治的な介入を行った。

この1936年の事件における理論的指導者の一人として北一輝が挙げられる。北は1923年に刊行した(4)の中で憲法停止による戒厳令の施行、私有財産の制限、大企業の国有化などを主張したが、これが事件を起こした青年将校らの理論的支柱となったとされる。それを理由として、事件後の軍法会議では北に死刑の判決が下されることとなった。

B 第二次世界大戦後、アメリカを中心とする西側陣営とソ連を中心とする東側陣営との間の対立が広がった。1947年6月にアメリカの国務長官が発表した^bヨーロッパの復興計画は、西ヨーロッパ諸国の経済復興と軍事援助につながり、冷戦を激化させることとなった。

東西の対立は東アジアにも波及した。中国では共産党と、アメリカに支援された国民党との内戦の結果、共産党が勝利し、1949年10月に北京で中華人民共和国の成立が宣言された。一方、敗れた国民党は台湾に逃れ、(5)を総統とする中華民国政府を存続させた。

1950年には朝鮮戦争が始まり、在日アメリカ軍が朝鮮へ動員されたあとの国内治安維持のためのものとして、GHQの指令によって(6)が新設された。日本の戦略的価値を認識したアメリカは、日本を西側陣営の一員に編入しようとした。1951年、日本と48カ国とのあいだでサンフランシスコ平和条約が調印され、同日に日米安全保障条約も調印された。一方、ソ連はサンフランシスコ平和条約に調印しなかったため、ソ連との外交問題が残されることとなった。ソ連との国交回復が課題となる中、(7)内閣において、1956年10月、日ソ共同宣言が調印された。

1960年代の冷戦体制は多極化が進み、第三勢力の台頭が見られた。1955年4月に中国、インドなど29カ国が参加して開かれた会議^cでは、平和十原則が採択された。

1980年代、ソ連のゴルバチョフはペレストロイカをスローガンに改革を試み、市場原理の導入などを通じて自由化が進められた。1987年12月には、米ソ間において(8)条約がワシントンで調印され、核兵器削減の動きが見られた。そして1989年12月、米ソ首脳によるマルタ島での会談の結果、冷戦の終結が宣言された。

設問 a 下線部 a の声明を何というか。

設問 b 下線部 b の計画を、この国務長官の名前にちなんで何というか。

設問 c 下線部 c の会議を何というか。

〔語 群〕

- | | | |
|---------------|--------------------|-------------|
| 11 上杉慎吉 | 12 滝川幸辰 | 13 美濃部達吉 |
| 14 穂積八束 | 15 犬養毅 | 16 若槻礼次郎 |
| 17 石橋湛山 | 18 吉田茂 | 19 広田弘毅 |
| 20 林銑十郎 | 21 鳩山一郎 | 22 高橋是清 |
| 23 岸信介 | 24 宇垣一成 | 25 近衛文麿 |
| 26 斎藤実 | 27 毛沢東 | 28 袁世凱 |
| 29 周恩来 | 30 蔣介石 | 31 「国策の基準」 |
| 32 『日本改造法案大綱』 | 33 『国防の本義と其強化の提唱』 | |
| 34 『世界最終戦論』 | 35 警察予備隊 | 36 自衛隊 |
| 37 保安隊 | 38 警備隊 | 39 包括的核実験禁止 |
| 40 核兵器拡散防止 | 41 中距離核戦力 (INF) 全廃 | |
| 42 部分的核実験禁止 | | |